

聖霊降臨節第18主日礼拝

2023年9月24日 午前10時30分

司式 細井伝道師
奏楽 奏楽奉仕者

前奏		
招詞		司式者
頌栄	真理は主イエス・キリスト	一同
交読	詩編 34編	一同
聖書	マルコによる福音書 第9章33～37節	(新)p.79
祈禱		司式者
讃美歌	21-280番	一同
使徒信条	21-93番(4-A)	一同
讃美歌	21-493番	一同
説教	「あなたの番です」	牧師
祈禱		牧師
讃美歌	21-60番	一同
献金	困難にある人々への連帯を祈りつつ	
感謝		献金奉仕者
主の祈	21-93番(5-A)	一同
讃美歌	21-92番	一同
祝禱		牧師
後奏	(黙禱)	奏楽者

【2023年度年間聖句】

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。(イザヤ書 43章19節a)

【今週の祈り】

- ・東日本大震災の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・柴宿教会(一関市)と掛江隆史牧師のために。

【本日の集会】

- ・9:40-10:20 教会養育(教会学校担当者)
- ・10:20-10:30 礼拝準備祈禱会
- ・10:30-11:30 主日礼拝
- ・11:30-11:45 讃美歌練習(担当:奏楽奉仕者)
- ・11:45-12:00 聖書通読:コリント(一)1章 p.299
- ・12:00- お茶の会:どなたでもどうぞ!

【今週の集会】

- ・聖研祈禱会 9月28日(木) 10:30-11:30
箴言15章16～33節 p.1010

【次主日の案内】

- ・聖霊降臨節第19主日礼拝10月1日10:30-11:45
司式: 細井伝道師 配餐:配餐奉仕者
交読: 詩編 35編
聖書: マルコ福音書10章6～9節 p.81
説教: 「助け合って生きる」三原牧師
献金: 献金奉仕者
奏楽: 奏楽奉仕者
讃美歌: 21-390(主は教会の基となり)
21-419(さあ、共に生きよう)

(聖餐式) 21-81(主の食卓を囲み)

- ・礼拝後 讃美歌練習(担当:奏楽奉仕者)
- ・聖書通読: コリント(一) 8章 p.309

「新米のおにぎり給ふ 婦人会」-信徒の友・俳句欄より-
2018年秋、信徒の友に掲載された母・光世の入選句だ。
まだ、認知症を患う前の母が、どんな思いでこの句を詠んだのか、伝道師でもある息子の責任として解釈してみたい。
この句の勘所は、下表のように多彩な意味を持つ「給ふ」という動詞の訳し方にあると思われる。

敬語の種類	動詞の種類	意味
尊敬語	本動詞	お与えになる
	補助動詞	～なさる
謙譲語	本動詞	いただく
	補助動詞	～です。～ます。 ～させていただく。



尊敬の本動詞とすれば、おにぎりを「お与えになる」のだから、主語は「神」と考えるべきであり、この句は刈り入れたばかりの新米を使ったおにぎりを、神様が婦人会に集う方々にお与え下さった感謝を詠んだ句と解釈できる。

一方、謙譲の本動詞だと考えると、おにぎりを「いただく」のだから、給ふの後ろに置かれた「婦人会」が主語であり、婦人会の面々が、恵みを受け取って喜んでいる情景句になる。つまりこの句は、新米のおにぎりという恵みを、五七五の12文字の中に、「神が与え」/「人が受ける」という双方向の動作で表現し、句全体から神を讃えた教会婦人らしい素朴な信仰告白なのだろう。ヤルじゃん、母さん・光世さん!

■ 集会報告

- 【教会 養育】 9月17日(日) 男4、女5、計 9名
- 【準備 祈禱会】 9月17日(日) 男4、女7、計11名
- 【主日 礼拝】 9月17日(日) 男4、女7、計11名
- 【聖研 祈禱会】 9月21日(木) 男2、女2、計 4名

◎ 個人情報保護の観点から、牧師以外の礼拝奉仕者並びに献金者の個人名は伏せさせていただきました。当伝道所は、教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられています。心から感謝申し上げます。

一からだのご不自由な方はお座りのままでどうぞー

- 礼拝前は静かに心を整えましょう。
- 聖書にあらかじめ目を通しましょう。
- 祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。
- 礼拝後は、交わりの時を。